

感染状況・医療提供体制の分析(10月5日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (9月28日時点)	現在の数値 (10月5日時点)	前回との比較	分析コメント
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	5862人 (312.3人)	3869人 (206.1人)	↓
		60歳以上 (総数に占める割合)	826人 (14%)	516人 (13%)	↓
	②保健所別 新規陽性者数	岡山市保健所	2058人	1507人	↓
		倉敷市保健所	1428人	814人	↓
		備前保健所	658人	265人	↓
		備中保健所	914人	659人	↓
		備北保健所	142人	188人	↓
		真庭保健所	125人	81人	↓
		美作保健所	455人	272人	↓
		その他	44人	83人	↓
医療提供体制	③入院患者数 (確保病床における入院割合)	163人 (26%)	137人 (22%)	↓	感染状況コメント レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要 新規陽性者は<u>人口10万人当たり206人</u>と減少。10歳代以下で1/3強を占める。クラスターは減少も、一部継続的に発生。新規陽性者数は減少も、減少は緩やか。連休による影響に注視が必要。日常生活の中、症状がある場合は外出を控える、屋内でのマスクの着用、手指衛生、換気の徹底など個人で行える基本的感染防止策の継続が重要となる。
	④宿泊療養者数	33人	50人	↑	
	⑤自宅療養者数	6443人	3707人	↓	
	⑥重症者数	5人	4人	↓	

医療提供体制コメント
レベル2. 体制逼迫の状態は緩和されつつあると思われる

新規感染者の減少に伴い、入院患者数や療養者数も減少。医療提供体制への負荷は緩和されつつある。